

本年もよろしく



お願いいたします



岩手県職員労働組合
役員一同

岩手県職労

号外=新年特集号

2024年1月1日 発行

発行日 毎月15日30日

発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内
岩手県職員労働組合

印刷所 盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む



みんなのための行動で 上昇気“龍”の一年に

©2023 岩手県観光協会

2024年 今年もよろしくお祈いします

- 中央執行委員長 小田嶋 智 昭 (北上支部・北上土木センター分会)
- 副中央執行委員長 小 澤 豊 和 (県庁支部・都市計画課分会)
- 副中央執行委員長 佐々木 辰 治 (県庁支部・建築住宅課分会)
- 書記 長 佐々木 真由美 (盛岡支部・盛岡広域振興局県税部分会)
- 書記 次 長 藤 村 秀 樹 (県庁支部・都市計画課分会)
- 中央執行委員 須 藤 開 (釜石支部・沿岸広域振興局水産部分会)
- 中央執行委員 遠 藤 俊 明 (盛岡支部・産業技術短期大学校分会)
- 中央執行委員 千 葉 美由喜 (県庁支部・農業普及技術課分会)
- 中央執行委員 千 葉 拓 也 (県庁支部・税務課分会)
- 中央執行委員 菊 池 勉 (県庁支部・管財課分会)
- 中央執行委員 高 谷 琢 人 (県庁支部・管財課分会)
- 中央執行委員 欽 形 幸 平 (北上支部・農業研究センター分会)
- 中央執行委員 佐 藤 佳 之 (盛岡支部・岩手土木センター分会)
- 中央執行委員 菊 池 圭 (県庁支部・医療政策室分会)
- 中央執行委員 橋 本 裕 子 (県庁支部・環境保全課分会)
- 県庁支部長 佐々木 琢 磨 (医療政策室分会)
- 盛岡支部長 佐 藤 嘉 彦 (盛岡農業改良普及センター分会)
- 花巻支部長 樋 澤 慶 一朗 (花巻土木センター分会)
- 北上支部長 藤 原 道 理 (北上土木センター分会)
- 胆江支部長 三 宅 真 佐子 (県南広域振興局林務部分会)
- 一関支部長 佐 藤 淳 精 (一関土木センター分会)
- 気仙支部長 口 岩 喜 幸 (大船渡土木センター分会)
- 釜石支部長 大 崎 勝 弘 (沿岸広域振興局農林部分会)
- 宮古支部長 内 山 貴 啓 (宮古農林振興センター分会)
- 久慈支部長 北 崎 秀 典 (県北広域振興局水産部分会)
- 二戸支部長 佐 藤 勝 志 (二戸地域振興センター県税室分会)

新年明けましておめでとうございます。日頃より業務に精励し、また、県職労運動へ結集いただいている組合員の皆様に心より敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、対面で組合員の皆様と接する機会が増えたことを嬉しく感じています。コロナ禍にはウェブ会議等の新たな情報交換ツールも普及しましたが、SNSはフィルターバブルやエコーチェンバーという言葉で表現されるように、自分の興味のある内容に偏る懸念も指摘されています。相互討論でお互いの考え方を共有し討論を深めるには、やはり対面での対話には敵わないと実感しています。

23確定闘争では全世代でのベースアップが実現しましたが、長引く物価高騰により実質賃金のマイナスが続いています。こうした中にあっても岸田首相は、防

衛費や解散総選挙目的の税還元など、あべこべな政策を続け、国民の信頼を失う迷走が顕著です。自身を応援する側のためだけの政治姿勢からも明白なように、厳しい生活を余儀なくされている勤労国民の姿は、首相の中に映っていません。まずは国民の方向をきちんと見定める眼鏡が彼には必要です。同時に、私たち働く者がしっかりと声を挙げ続けることで、政府の視点を国民に向けさせる行動追求も極めて重要になってきます。

ギブ&テイクという言葉がありますが、最近ではテイク(見返り)がないとギブ(行動)しない姿を見かけることもあります。誰かのため・みんなのためにはまず集まり考えるという行動は、まさしく労働組合がめざす運動の一丁目一番地であり、真の民主主義を築いていくための第一歩です。

今年が辰年。「辰」は草木が伸長し、形が整い、活気にあふれる様子を表すとされ、天高く昇る竜に例えて「上昇気運」が期待される年とも言われます。

顔と顔・心と心を合わせてお互いを尊重し合い、共に行動を起こすことで、全体が上昇する一年にできるよう、県職労も組合員の連帯と組織強化に努めて参ります。本年もよろしくお祈いいたします。



中央執行委員長
小田嶋 智昭

顔・心を合わせ連帯と組織の強化を

職場紹介

岩手県立産業技術短期大学校分会

岩手県南家畜保健衛生所分会

岩泉土木センター分会

県職労には数多くの分会があり、その規模も職種も様々です。組合員の皆さんは、第一線で日々仕事をしながら、職場環境の改善を求めて頑張っています。

今年は、盛岡支部「岩手県立産業技術短期大学校分会」、胆江支部「岩手県南家畜保健衛生所分会」、宮古支部「岩泉土木センター分会」の3分会を紹介いたします。

県内ものづくり産業へ

意欲的な実践技術者を育成・輩出

岩手県立産業技術短期大学校分会



▲岩手県立産業技術短期大学校分会の皆さん

産業技術短期大学校(矢中校)は進展する産業技術に対応できる柔軟な思考力を持ち、新しい価値を創造していく意欲的な実践技術者を育成することを目的に、1997年に矢中町に開校し、本年度開校から27年目を迎えます。開校時は学校の周辺は空き地でしたが、住宅地の造成も盛んに行われています。当校はメカトロニクス技術科、電子技術科、建築科、産業デザイン科、情報技術科、産業技術専攻科、能力開発研修

地域とともに 健康な家畜で 収益力アップ!

岩手県南家畜保健衛生所分会



▲岩手県南家畜保健衛生所分会のみなさん

県南家畜保健衛生所(奥州市に所在)は県南部8市5町を管轄し、その面積は県土の44.4%です。西側は奥羽山系で秋田県と、南側は北上川流域の平野部で宮城県と接し、東側は北上山系が太平洋に臨みリアス式海岸を形成しています。これら地理的自然条件を生かした、稲作、畜産、園芸のバランスのとれた農業が行われています。

畜産の立地をみると、内陸部は土地利用型の酪農、高品質の肉牛生産経営が、また、北上山系、奥羽山系

では大規模な放牧が盛んで、沿岸部ではブロイラー生産及び養豚が展開されています。

このような中、私たち職員は、①家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、②家畜衛生対策による生産性向上支援、③安全な畜産物の生産支援を業務の3本柱として、安全な畜産物の生産と安定した畜産経営の支援に日々邁進しています。

復旧復興事業の着実な推進に全力

岩泉土木センター分会



▲岩泉土木センター分会の皆さん

平成28年台風第10号及び令和元年台風第19号被害からの復旧復興

東北地方の太平洋側から上陸した初めての台風である平成28年台風第10号、令和元年台風第19号、2つの台風による豪雨は小本川、安家川の被害や岩泉町内で発生した土砂災害は町とその周辺地域に甚大な被害をもたらしました。

岩泉土木センターでは、職員38人、会計年度任用職員12人の計50人で台風被害からの復旧復興事業の着実な推進を最重要課題に位置付け、事業推進を図る

ことと併せて地域の生活・経済活動に必要な社会資本を適正に管理し、必要な整備を行うことにより、地域住民の方々が安心して豊かに暮らせる県土づくりを目指し、公共土木施設の早期復旧・復興及び流域治水の取組や社会資本の適正な管理と整備に取り組んでいます。

復興や社会資本整備への期待の高まりとともに、業務量が増加するなどの課題もあり、台風災害からの復旧復興事業については2024年度の事業完了をめざして日々取り組んでいます。

また、岩泉合庁チームとして朝野球に参加し、県大会出場を果たすなど、チームワークよく明るく前向きな職場です。

笑顔かがやく県職労の実現へ

県職労の皆様、新年おめでとうございます。また、昨年は猛暑の中での盛岡市議選で、組合員とご家族の皆様が力強いご支援を賜り二期目の当選を果たすことができました。心より感謝申し上げます。

二期目は、産業環境常任委員に所属するとともに、



盛岡市議会議員 野中 靖志 県職労組織内(立憲民主党)

環境保全特別委員長として、地球温暖化防止対策やマ・シカ等の鳥獣被害対策の調査研究に取り組んで参ります。

そして、今年「解散総選挙」が予想されます。「政治資金パーティ」を利用した巨額の裏金作りや、岸田総理自らが旧統一教会

地方自治を守るための行動をともに

明けましておめでとうございます。

昨年はコロナ5類移行を経て、ようやく地域も労働運動も活気が出てきました。一方で、公立病院や消防現場では大変な状況が続いており、継続的なコロナ対策は必須です。

世界では、ウクライナ侵攻やパレスチナ情勢等、戦争・紛争が絶えません。一



参議院議員 岸 まきこ 自治労組織内(立憲民主党)

日も早い安寧を願うとともに、日本政府としての国際平和に向けた積極的行動を求められています。

私の今年の目標は「地方自治を守るための行動」です。

昨年末、第33次地方制度調査会の答申が出され、感染症等を理由に国が地方への指示を可能とする内容が盛り込まれました。国と地

域住民のためにこそ地方自治体を尊重すべきであることを言い続けなければなりません。本年も住民・地方を守るためにも国政で自治労の現場の声を届けます。

声を力に、一歩前へ。と